

5

障がい者の人権

障がいのある人もない人も、ともに生きる社会にするために

1 対象

小学校4年生～6年生、中学生

2 ねらい

障がいのある人もない人も全ての人にとって住みよい社会を実現するため、障がいのある人に寄り添った支援の在り方を理解し、自分にできることを考え、行動できる力を育成する。

3 準備するもの

- ワークシート
- グループ用ワークシート（A3サイズ）
- 生活場面カード、障がい種別カード

4 解説

障がいのある人*もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、ともに生きる社会（共生社会）を実現することが大切です。しかし、障がいのある人は、日常生活や社会生活を営む上で、様々なバリアに直面することも多い現実があります。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関等及び事業者に対し、障がいを理由とする不当な差別的取扱いを禁止し、障がいのある人から申出があった場合に合理的配慮の提供を行うことなどを通じて、共生社会を実現することをめざしています。なお、この法律は令和3年に改正され、事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されました。障がいのある人もない人も住みよい社会を実現するため、障がいのある人について一人ひとりが考え、理解を深めていくことが大切です。

※障がいのある人とは、身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）や心身の機能などに障がいがあり、障がいや社会の中の障壁によって生活に制限を受ける状態にある人をいいます。

5 教科などとのつながり

社会、総合的な学習の時間、特別活動 など

6 進め方（展開例） 45分または50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレーキング（8分）</p> <p>「最近、他の人にしてもらって、うれしかったこと」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ワークシートの1に書く。 ②4人程度のグループで発表する。 ③活動の感想をグループで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを説明する。 ・P4【学習の約束】を伝える。 ・まとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
<p>・お互いに「他の人からしてもらおうと嬉しいと感じること」があることに、あらためて気づく。</p>			

<p>展開</p> <p>小学校 30分 中学校 35分</p>	<p>◆アクティビティ（小30分、中35分） 「困っていることは何だろう」</p> <p>①4人程度のグループをつくり、一人ひとりが2種類のカードから1枚ずつ選び、ワークシートの2に書く。</p> <p>②選んだ生活場面で、障がいのある人がどのようなことに困るか、どのような配慮や支援ができるか個人で考え、ワークシートの2に書く。</p> <p>③グループになり、グループ用ワークシートにカードを置いたり書き込んだりしながら伝え合う。</p> <p>④全員が発表したら、困ることや配慮・支援が他にもないかグループで考える。</p> <p>⑤全体で共有する。</p> <p>⑥普段心がけていたこと、これから心がけたいことや、自分にできることを考え、ワークシートの3に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活場面カード」と「障がい種別カード」を配り、それぞれ1枚選ばれる。児童・生徒の実態に応じて、教師が組合せを決めておいたり、使用する数を減らしたりしてもよい。 ・障がい種別カードについては必要に応じて説明する。 ・なるべくたくさん書かせる。当事者がどのような気持ちでいるのかも考えるよう促す。 ・自分にできることを考えさせるが、どのような環境であれば困らないかなど、事業者などができることも記載するとよい。 ・実際の生活で障がいのある人が困っている場面を見たことがある児童・生徒から、その場面について話してもらってもよい。 ・今後、実際に行動できるようになるために、具体的に考えるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・生活場面カード、障がい種別カード ・グループ用ワークシート（A3）
<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮について知り、まとめの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮の具体例を挙げながら、説明する。 ・授業をとおして生徒から出された感想や記述をもとに、ねらいをおさえまとめる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・当事者の立場に寄り添って考えることの大切さを知る。 ・今日考えたこと、気づいたことをこれからの生活に生かし、行動することの大切さに気づく。 			

<参考資料など>

- ・リーフレット「令和6年4月1日から合理的配慮の提供が義務化されました」（内閣府）
http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/pdf/gouriteki_hairyo2/print.pdf

しょう ひと ひと い しゃかい
障がいのある人もない人も、ともに生きる社会にするために

() ねん () くみ () ばん なまえ _____

1 ^{さいきん} 最近、^{ほか} 他人に^{ひと}してもらって、うれしかったことはなんですか。

2 ^{しょう} 障がいのある人が^{ひと}困ることと、それに対する^{こま}配慮や^{たい}支援を^{はいりよ}考え^{しえん}ましょう。

^{せいかつばめん} 生活場面	^{しょう} 障がい種別	^{こま} 困ること	^{はいりよ} 配慮や ^{しえん} 支援

3 ^{ふだん} 普段 ^{こころ} 心がけていたこと、これから ^{こころ} 心がけたいことや、^{こんご} 今後、^{じぶん} 自分にどのようなことができるかを ^{かんが} 考え、^か 書きましょう。

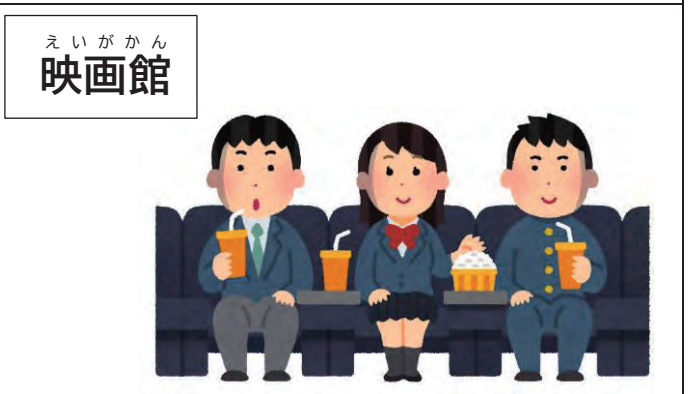
グループ用ワークシート

○ 障しょうがいのある人が困こまることと、それに対たいする配はい慮りや支し援えんを考かんえましよう。

() 組ぐみ () グループ

	生 <small>せい</small> 活 <small>かつ</small> 場 <small>ば</small> 面 <small>めん</small>	障 <small>しょう</small> がい種 <small>しゅ</small> 別 <small>べつ</small>	配 <small>はい</small> 慮 <small>り</small> や支 <small>し</small> 援 <small>えん</small>	困 <small>こま</small> ること	配 <small>はい</small> 慮 <small>り</small> や支 <small>し</small> 援 <small>えん</small>
ケース1					
ケース2					
ケース3					
ケース4					

せいかつばめん
生活場面カード



しょう しゅべつ
障がい種別カード ※ここでは障がい種別の一部を取り上げています。

したいふじゆうひと
肢体不自由の人

くるま りようひと
(車いす利用の人)

- ・高いところの物を取るのが大変です
- ・物を落とすと拾うのが大変です
- ・段差があったり、通路が狭かったりすると通れません

しかくしょうひと
視覚障がいの人

- ・全く見えない人や、視野がせまい人など、人によって様々です
- ・段差や境目などでつまずくことがあります
- ・周りの状況がわからないことがあります

ちやうかくしょうひと
聴覚障がいの人

- ・手話がわかる人も、わからない人もいます
- ・外見では聴覚障がいがあることがわかりにくいです

ちてきしょうひと
知的障がいの人

- ・難しい言葉で話されてもわかりません
- ・早口で話をされると困ります
- ・漢字は苦手です
- ・ゆっくりと説明してほしいです